

北斗病院 「病理診断科」を開設

道内で初患者に直接説明も

北斗病院(帯広市稲田町、井出渉院長)はこのほど、「病理診断科」を道内で初めて開設した。患者の病気を最終確定する病理診断はこれまで、

主治医に報告されるだけで患者との接点はなかったが、同科新設で病理診断専門医が希望する患者に対し直接、診断結果を説明できる。がん医療

を中心に、検査で採取した細胞組織の映像も見せながら専門的な立場から病気を解説、患者が納得する高いレベルの医療提供を目指す。病理診断では検査で患者から採取した細胞や組織を顕

微鏡で見て病気を最終確定、主治医による治療方針決定の基盤になっている。しかし、臨床経験豊かな病理専門医が少ないこともあり病理診断科の標ぼうは進んでいない。

北斗病院では頭頸部腫瘍学センター開設やがんのチーム医療を展開。「病理診断は医療の中心的な存在で専門性が要求される。しっかりした病理診断によって病院の医療レベルアップする」(佐和弘基副院長)と、道内で初めて病理診断科を設ける。

新設の病理診断科担当の西原医師と佐和副院長(右から)



病理診断では検査で患者から採取した細胞や組織を顕

微鏡で見て病気を最終確定、主治医による治療方針決定の基盤になっている。しかし、臨床経験豊かな病理専門医が少ないこともあり病理診断科の標ぼうは進んでいない。

北斗病院では頭頸部腫瘍学センター開設やがんのチーム医療を展開。「病理診断は医療の中心的な存在で専門性が要求される。しっかりした病理診断によって病院の医療レベルアップする」(佐和弘基副院長)と、道内で初めて病理診断科を設ける。

病理専門医の西原広史北海道大学大学院医学研究科探索病理学講座特任准教授が月2回来院。北斗病院で手術が組織検査を受けた患者や、病理解剖を行った患者の遺族などが希望する場合に限って診断結果を説明する。

親子3代で地域医療

かわかみ整形
クリニック

完0同三市日見

「かわかみ整形外科クリニック」と名称変更。親子3代にわたり地域医療を支えてきた。

意思はしっかりと私、孫と受け継がれている」とあいさつ。帯広市医師会の堀修司会長、北大の川上義和名誉教

田村久子さんの「十勝の風景を楽しんでほしい」という誘

冬ソナ監督が植樹

清水・十勝千年の森で

【清水】韓流ドラマ「冬のソナタ」の監督を務めたユン・ソクホさんが3日、今年結婚したばかりのハン・ヘス夫人とともに十勝千年の森(ラシラン・ファーム、町羽帯)を訪れ植樹を行った。

ユン監督の知人であるNPO音更町文化事業協会理事の

例えば、がん医療では、手術で採取した細胞を顕微鏡で拡大した画像を見ながら、正常細胞との違い、抗がん剤の効果、がんの進行度や転移の可能性などを説明する。主治医も可能な限り立ち会い、患者一人1時間の予約枠を設けて対応する方針。

西原氏は内科医としても臨床経験があり、「自らの病気を深く知りたいという患者に対し、専門的な立場から説明

(見玉匡史)

直前するユン監督(ハン)

